

国際がん研究機関(IARC)による「喫煙とたばこ煙」に対する評価

※全体として、「グループ1:ヒトに発がん性がある」と判定されています。

がん種	喫煙の影響		
	因果関係の有無	期間・本数などによる影響	その他(組織型別など)
口腔	◎	○	お酒との組み合わせでさらにリスクが高くなる。
鼻腔と副鼻腔	◎	○	組織型別(扁平上皮癌)に検討しても関連が認められる。
上咽頭	○	○	他の要因の影響 ^(注) の可能性があるが、それだけでは喫煙者でリスクが高くなることについて説明できない。
中咽頭と下咽頭	◎	○	
食道	◎	○	組織型別(腺癌、扁平上皮癌)に検討しても関連が認められる。お酒との組み合わせでさらにリスクが高くなる(扁平上皮癌)。
胃	◎	○	お酒やピロリ菌の影響を除いても、喫煙の影響がある。
大腸(結腸・直腸)	*		喫煙者でリスクが高くなることについて、他の要因の影響を否定できない。
肝臓	◎	○	肝炎ウイルスの影響を除いても、喫煙の影響がある。
膵臓	◎	○	お酒の影響を除いても、喫煙の影響がある。
喉頭	◎	○	お酒との組み合わせでさらにリスクが高くなる。
肺	◎	○	がんの組織型別(扁平上皮癌、小細胞癌、腺癌、大細胞癌)に検討してもそれぞれ関連が認められる。
女性乳房	—		喫煙者でリスクが高いことについて、他の要因の影響で説明できる。
子宮頸部	◎	○	パピローマウイルスの影響を除いても、喫煙の影響がある。
子宮体部	—		喫煙者でリスクが低い傾向があり、閉経後女性でのその傾向が強い。
前立腺	*		喫煙者でリスクが高いことについて、他の要因の影響を否定できない。
尿路	◎	○	移行上皮癌だけでなく、腎細胞がんでも関連がある。
白血病	◎ (骨髄性)	○	リンパ性白血病やリンパ腫については、研究報告が少なく、結果も一致していない。

その他	*	研究報告が少なく、結果も一致していない。
-----	---	----------------------

(注)上咽頭がんの喫煙以外のリスク要因として EB ウイルス (Epstein Barr Virus) が指摘されています。

関連の有無

- ◎ : 因果関係がある
- : リスク上昇と関連がある
- * : 関連があると判断できない
- : 関連がない

期間・本数などによる影響

- : 期間が長い、本数が多いほどリスクが高い
- 空白 : 記載なし

資料:国際がん研究機関 ヒトへの発がん性リスク評価モノグラフ第 83 巻(2002 年)